

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

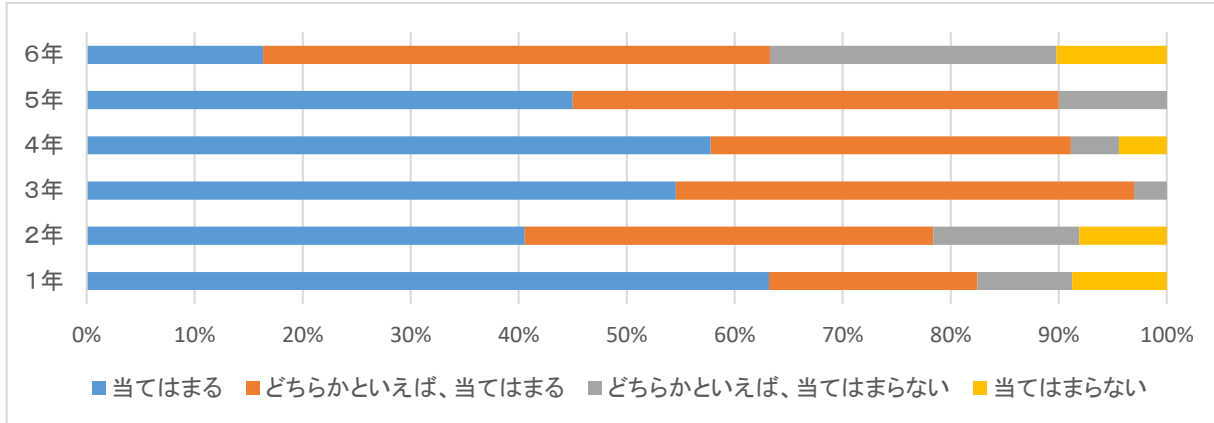
1 概要

益子町では、町内の全小学校にて教育課程特例校として、小学校第1・2学年に「外国語活動」を設置する特別の教育課程を編成しています。低学年では、体を動かす活動を中心に、英語を楽しく慣れ親しむ活動ができるよう単元を構成し、思いや考えを伝えるコミュニケーション活動や英語による読み聞かせ等の活動を取り入れています。

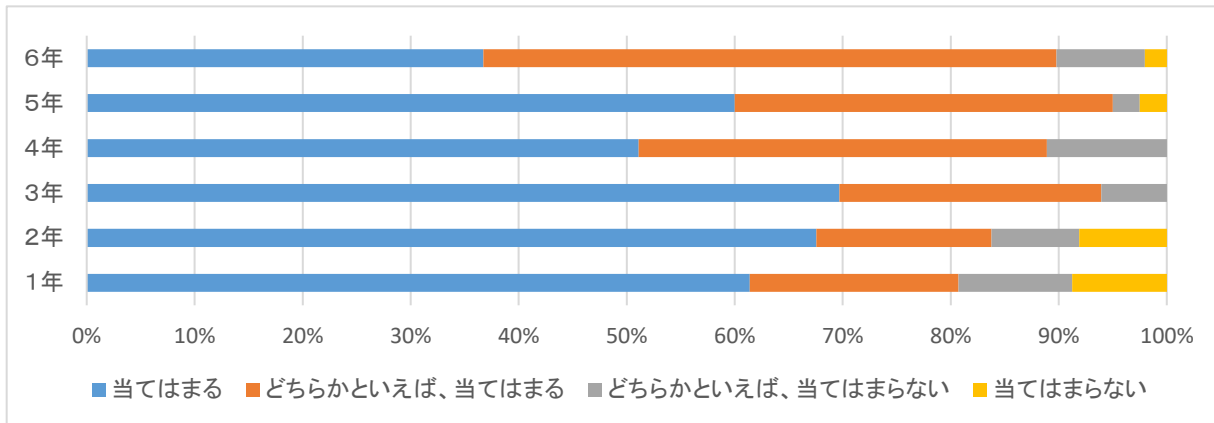
2 益子小学校児童アンケート結果(令和4年12月実施)

(1) 児童の意欲について

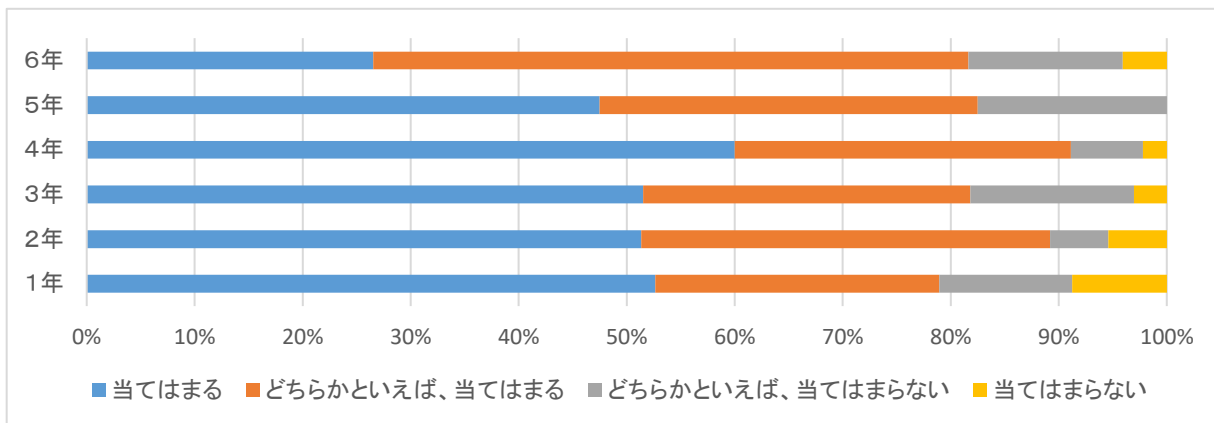
① 外国語活動・外国語科の授業は好きである



② 外国語活動・外国語科の授業に進んで参加している

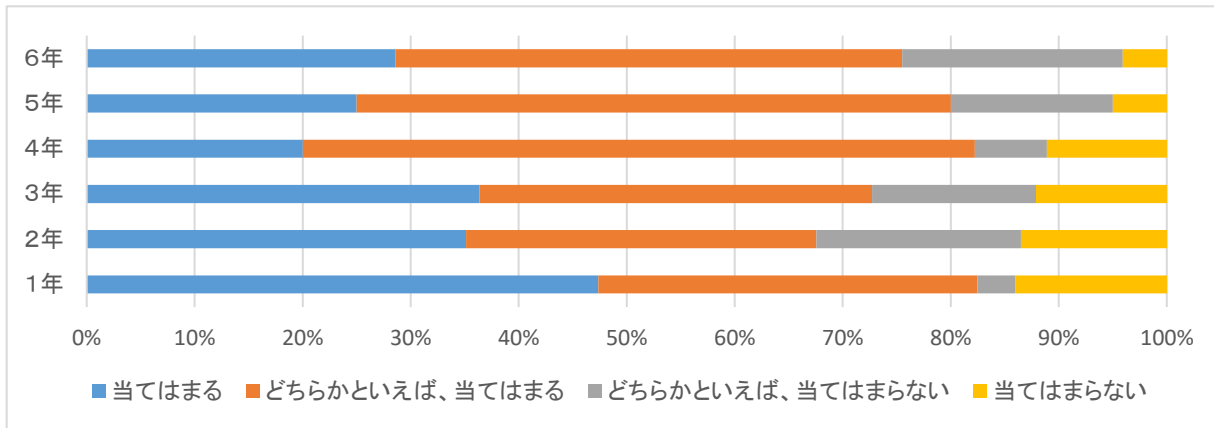


③ 外国語活動・外国語科の授業で、先生や友達とのコミュニケーションは楽しい

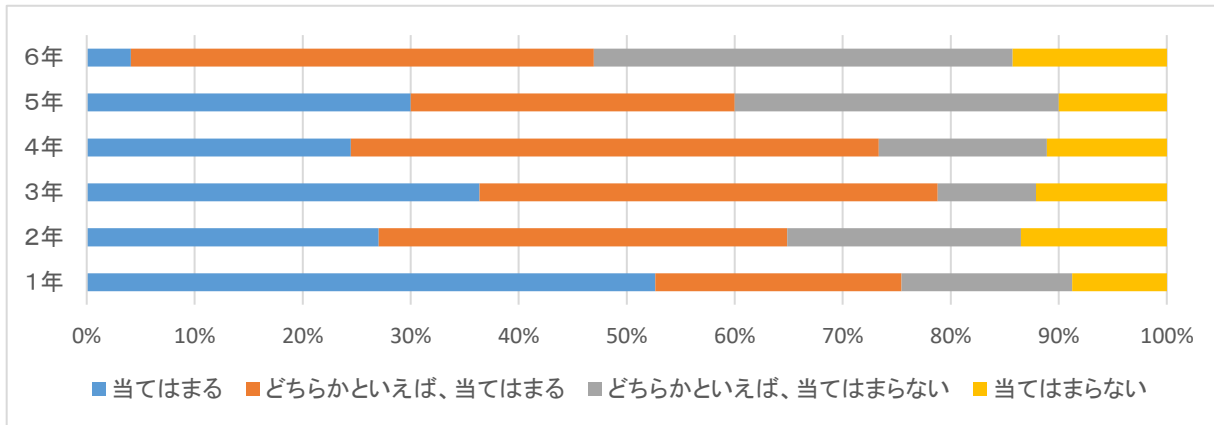


(2) 児童の英語力やコミュニケーション力について

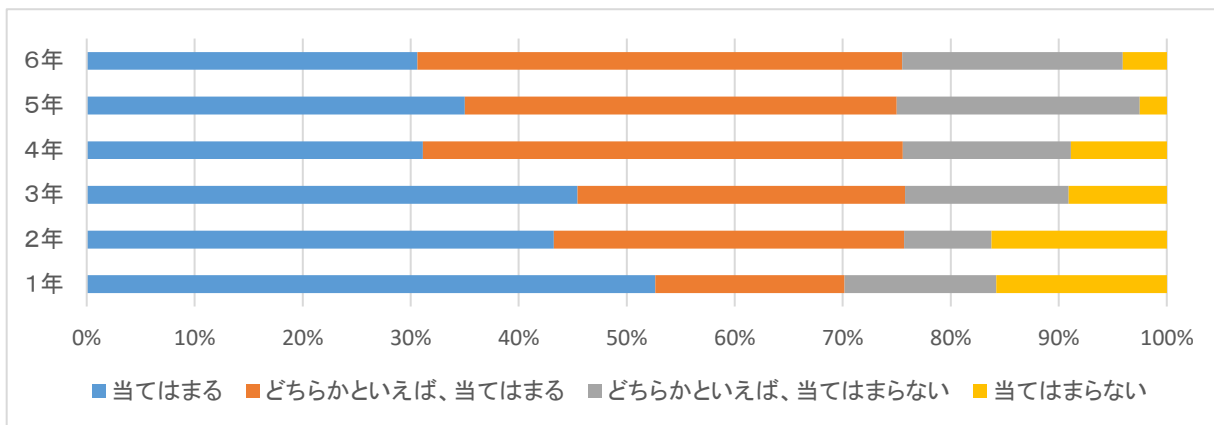
① 授業で、英語専科や担任の先生、友達が使う英語の意味がわかる



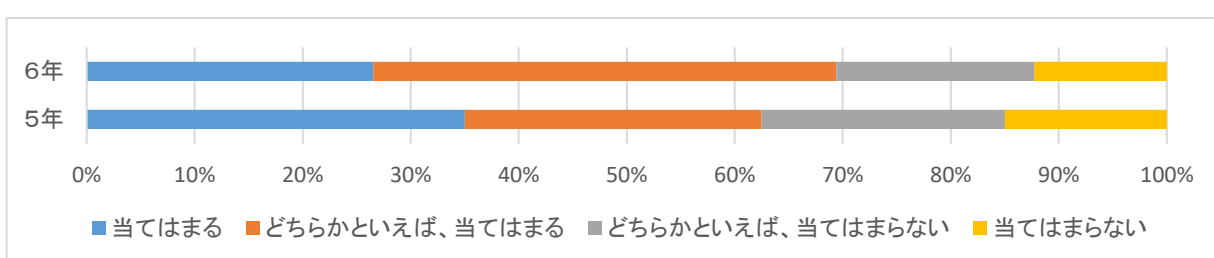
② 授業で、ALTが使う英語の意味がわかる



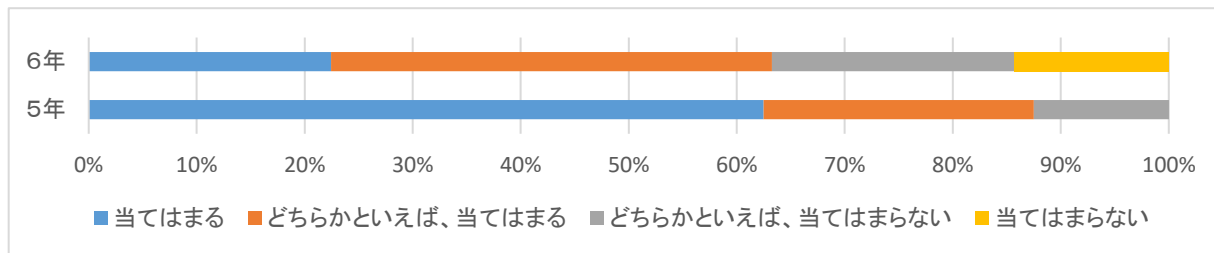
③ 友達に英語を使って自分の考えを伝えることができる



④ 5年生 英語で書かれた名前や教科書に出てくる言葉を読むことができる
6年生 教科書に書いてある英語の文を読むことができ意味がわかる



- ⑤5年生 アルファベットの大文字・小文字や簡単な単語を書くことができる
 6年生 教科書や例文を見ながら、自分が伝えたいことについて英語で文を書くことができる



〈成果〉

- ・「外国語活動・外国語科の授業に進んで参加している」と「外国語活動・外国語科の授業で、先生や友達とのコミュニケーションは楽しい」の項目において、全学年で8割近い児童が肯定的な意見であった。先生や友達とのコミュニケーションは楽しいと感じ、意欲的に、楽しみながら参加している児童の姿が見られた。
- ・「授業で、英語専科や担任の先生、友達が使う英語の意味がわかる」の項目において、全学年で7割近い児童が肯定的な意見であった。授業内容を工夫し、前年度までの学習内容を生かせるような授業を行った。

〈課題〉

- ・「授業で、ALTが使う英語の意味がわかる」の項目において、高学年での肯定的な意見は半数以下となった。ALTの話す英語を児童が理解できているか確認しながら、話すスピードをゆっくりにしたり、専科教員が言い換えたりして授業をしていく必要がある。
- ・3～6年生は、専科教員とALTが授業を行っている。それぞれに実態に応じた授業展開をするためには、担任と連携を図りながら、分かりやすい授業を展開していく必要がある。

